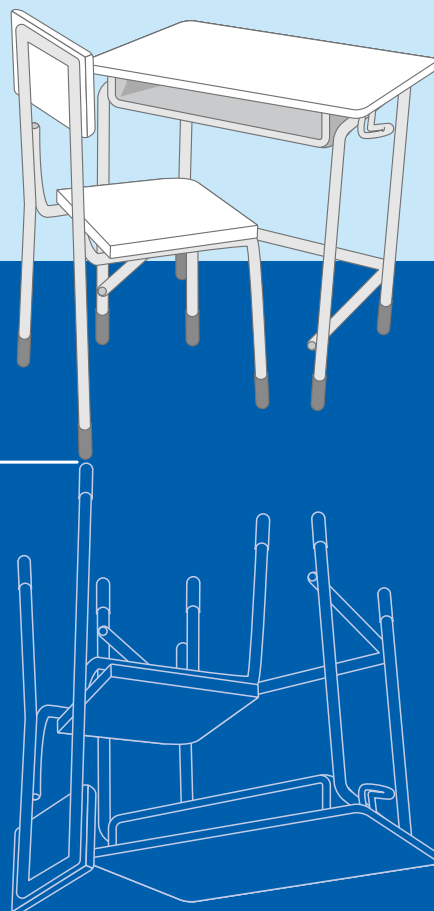


いじめ総合対策 【第2次】

下 巻 [実践プログラム編]



平成29年2月
東京都教育委員会

[実践プログラム編]の構成について

下巻 [実践プログラム編] は、上巻 [学校の取組編] の内容を踏まえて、各学校において、「いじめに関する授業」や教職員研修を実施するためのプログラムとして編集されており、平成26年2月に東京都教職員研修センターが発行した「いじめ問題に対応できる力を育てるために—いじめ防止教育プログラム—」を、上巻の内容に合わせて改訂したものとなっています。

第3部「いじめ防止のための『学習プログラム』」には、「いじめに関する授業」で活用するための指導事例を示しています。例えば、子供同士の話し合いを通して、SNSを通じて行われるいじめを防止するために、どのようなことに気を付ければよいのかを考える指導事例などは、今回新たに示した内容です。

各学校において、これらの指導事例を参考にして、子供たちの実態に即した授業計画を立てていただきたいと考えています。

第4部「いじめ問題解決のための『教員研修プログラム』」には、全ての学校で必ず実施することが義務付けられている校内研修の取組事例を示しています。いじめ防止対策推進法に規定されている「いじめ」の定義や組織的対応の在り方などについて、分かりやすく理解できるよう構成しました。

一人一人の教職員が、上巻「学校の取組編」に定められている取組を確実に実施することができるよう、このプログラムを十分に活用していただきたいと思います。

第5部「教材・資料 等」には、第3部に示している「学習プログラム」で使用する教材や資料を掲載しています。そのままコピーするなどしてお使いください。

本書と上巻を関連させながら活用することにより、全ての教職員が、自信をもっていじめ問題に対峙^じできるようになることを願っています。

下巻 [実践プログラム編]

第3部 いじめ防止のための「学習プログラム」

第1章	「学習プログラム」の概要	6
第2章	「学習プログラム」の指導内容一覧	8
第3章	学習プログラム	
	1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成	
	(1) 児童会・生徒会等	10
	(2) 小学校低学年	12
	(3) 小学校中学年	16
	(4) 小学校高学年	20
	(5) 中学校	24
	(6) 高等学校	28
	(7) 特別支援学校	30
	2 互いの個性の理解	
	(1) 小学校低学年	32
	(2) 小学校中学年	34
	(3) 小学校高学年	36
	(4) 中学校	38
	(5) 高等学校	40
	(6) 特別支援学校	42
	3 望ましい人間関係の構築	
	(1) 小学校低学年	44
	(2) 小学校中学年	46
	(3) 小学校高学年	48
	(4) 中学校	50
	(5) 高等学校	52
	(6) 特別支援学校	54

4 規範意識の醸成

(1) 小学校低学年	56
(2) 小学校中学年	58
(3) 小学校高学年	60
(4) 中学校	62
(5) 高等学校	64
(6) 特別支援学校	66

第4部 いじめ問題解決のための「教員研修プログラム」

第1章 「教員研修プログラム」の概要	70
--------------------	----

第2章 教員研修プログラム

1 「いじめ」の定義の確実な理解	72
2 「学校いじめ防止基本方針」に基づく確実な取組の推進	74
3 いじめ問題の解消に向けた組織的な取組	76
4 いじめを生まない環境づくり	78
5 いじめの未然防止に向けた関係機関等との連携	80
6 「いじめ」の定義に基づくいじめの認知	82
7 いじめの早期発見のための情報共有	84
8 いじめの解消に向けて効果のあった取組	86

第3章 いじめ問題への対応事例	95
-----------------	----

第5部 教材・資料 等

◆ 「学習プログラム」場面絵・ワークシート等	102
◆ 参考文献・引用文献等	119

おわりに

はじめに

第1部 **学校の取組**

第1章 いじめ防止等の対策を推進する六つのポイント

第2章 四つの段階に応じた具体的な取組

- 1 未然防止 ～いじめを生まない、許さない学校づくり～
 - 2 早期発見 ～いじめを初期段階で「見える化」できる学校づくり～
 - 3 早期対応 ～いじめを解消し、安心して生活できるようにする学校づくり～
 - 4 重大事態への対処 ～問題を明らかにし、いじめを繰り返さない学校づくり～
- ◎ 位置付け別 学校の取組一覧

第3章 「いじめ総合対策【第2次】」の推進状況の把握・検証と改訂

- 1 「いじめ総合対策【第2次】」の推進状況の把握と検証
- 2 「いじめ総合対策【第2次】」改訂のスケジュール

参考資料

第2部 **資料**

第 3 部

**いじめ防止のための
「学習プログラム」**

いじめ問題を未然に防いだり、適切かつ迅速に解決したりするためには、子供たち自身が、いじめを自分たちの問題として主体的に考え、話し合い、行動できるようにすることが重要です。全ての教育活動を通じて、児童・生徒一人一人に対して、いじめ問題に対応できる力を意図的・計画的に身に付けさせることができるよう、学習プログラムを開発しました。

「学習プログラム」の構成の特徴

プログラムの項目とねらい	上巻との関連
<p>1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめについて深く考え、いじめは絶対に許されない行為であることを自覚する。 ○ いじめの防止に向けて、協力し合い、より良い学校生活を作り出す主体的な態度を養う。 	<p>未然防止</p> <p>(1) 子供が安心して生活できる学級・学校風土の創出</p> <p>(3) いじめを許さない指導の充実</p> <p>(4) 子供が主体的に行動しようとする意識や態度の育成</p>
<p>2 互いの個性の理解</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の良いところや、友達の良いところに気付き、生活の中で、どのように生かしていくかを考え、実行しようとする意思をもつ。 ○ 自分の良いところや友達の良いところを、「価値ある個性」と捉え、自尊感情や自己肯定感を育む。 	<p>未然防止</p> <p>(4) 子供が主体的に行動しようとする意識や態度の育成</p>
<p>3 望ましい人間関係の構築</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の気持ちや立場を考えたコミュニケーションの在り方について考え、自他を尊重した望ましい人間関係を築く。 ○ 集団全体の合意形成に向けた話し合いを通して、相手の状況や目的に応じてコミュニケーションを図る力を身に付ける。 	<p>未然防止</p> <p>(4) 子供が主体的に行動しようとする意識や態度の育成</p>
<p>4 規範意識の醸成</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団生活や公共の場で守るべきルールやマナー、大切にすべきモラルについて考え、すすんで守ろうとする意欲をもつ。 ○ 法や決まりの意義について考えることを通して、他者と共生するために必要な規範を身に付けるとともに、主体的に決まりを守ろうとする態度を育む。 	<p>未然防止</p> <p>(1) 子供が安心して生活できる学級・学校風土の創出</p> <p>(4) 子供が主体的に行動しようとする意識や態度の育成</p>

これらの4項目から編成するプログラムは、児童・生徒の発達の段階を考慮して作成し、「小学校低学年」、「小学校中学年」、「小学校高学年」、「中学校」、「高等学校」及び「特別支援学校」の6編で構成しています。

なお、「特別支援学校」に関しては、知的障害のある児童・生徒への指導事例として掲載しています。そのため、障害種別や児童・生徒の実態に応じて、「特別支援学校」だけでなく、他校種の項目を参考に活用してください。

「学習プログラム」の活用

(いじめに関する授業に活用できる学習指導案及び板書例、教材文や資料等を見開き2ページで掲載しています。)

「教育課程における位置付け」「主な使用教材」を記載しています。ワークシート等の資料は、102ページからの「教材・資料等」を御覧ください。

授業の流れや子供の反応例を掲載しています。板書の活用方法としても参考にしてください。

学校 学年	
4 規範意識の醸成	
◆学習のねらい	◆教育課程における位置付け
◆評価	◆主な使用教材
展開例	
	学習活動 ○指導上の留意点
導入	
展開	
まとめ	

板書例	
[Blank space for board writing]	
発展的な展開例	
	学習活動 ○指導上の留意点
展開	
【資料等】	

「1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成」の「特別の教科 道徳」では、「公正、公平、社会正義」「相互理解、寛容」等、いじめと関わりの深い内容項目の指導案を2事例、「2 互いの個性の理解」以降の学習プログラムでは「発展的な展開例」を作成しました。いじめに関する授業の実施状況や学級の実態に応じて、見開きの左ページの「展開例」を繰り返し実施したり、「展開例」の展開部分を「発展的な展開例」に入れ替えて実施したりすることができます。

年間を見通した「学習プログラム」の活用時期例（中学校）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
早期発見・未然防止の取組	校内研修① 【学校いじめ防止基本方針】に基づく 確実な取組の推進】	いじめに関する授業① 【いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成】			校内研修② 【いじめ問題の解消に向けた組織的な取組】	
早期発見・未然防止の取組	いじめに関する授業② 【望ましい人間関係の構築】		校内研修③ 【「いじめ」の定義の確実な理解】	いじめに関する授業③ 【規範意識の醸成】		

No.	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	
1	いじめをしない、許さないための意識の醸成	<p>自分の好き嫌いとらわれず、誰に対しても仲間外れにしない態度を育てる。</p> <p>◆公正、公平、社会正義 「さるくんはだめ」 (東京都教育委員会『小学校版東京都道徳教育教材集』)</p>	<p>自分と異なる思いや考えを大切にできる態度を育てる。</p> <p>◆相互理解、寛容 「ぼくらのビー玉コースター」 (東京都教育委員会『小学校版東京都道徳教育教材集』)</p>	<p>相手の気持ちを考えて行動し、互いに信頼し合い、友情を深めていこうとする態度を育てる。</p> <p>◆友情、信頼 「知らない間の出来事」 (文部科学省『私たちの道徳』小学校5・6年)</p>
		<p>友達を仲間外れにせず仲良くし、互いに助け合っていこうとする態度を育てる。</p> <p>◆友情、信頼 「およげない りすさん」 (文部科学省『わたしたちの道徳』小学校1・2年)</p>	<p>いじめをすることなく、誰とでも公平に接しようとする態度を育てる。</p> <p>◆公正、公平、社会正義 「同じ仲間だから」 (文部科学省『わたしたちの道徳』小学校3・4年)</p>	<p>誰に対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、いじめを許さない公正、公平な態度を育てる。</p> <p>◆公正、公平、社会正義 「ユリのうしろ姿」 (東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成28年3月)</p>
【児童会・生徒会等】 ・委員会活動におけるいじめ防止に向けた取組				
2	互いの個性の理解	<p>友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知ること、自分の良いところを積極的に知ろうとする態度を育てる。</p> <p>○ 自分ができるようになったことや自分を紹介することをカードに記入する。 ○ 4人グループになり、自分以外の3人の良いところを書き、互いに発表する活動を通して、自分が知らなかった良いところに気付く。</p>	<p>友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知り、自分の良いところを伸ばしていこうする態度を育てる。</p> <p>○ 自分の良いところや、自分の気になるところについて考える。 ○ 4人グループになり、自分以外の3人の良いところを書き、互いに発表する活動を通して、自分が知らなかった良いところに気付く。 ○ 自分の良いところについての感想をまとめる。</p>	<p>自分らしさ、友達のその人らしさを見付け、学級の一員としての自分に気付くとともに、学級全員のその人らしさを、学級で生かしていこうとする態度を育てる。</p> <p>○ 「自分らしさ」について考える。 ○ 4人グループになり、自分以外の3人の良いところを書き、互いに発表する活動を通して、自分が知らなかった良いところに気付く。 ○ 一人一人のその人らしさを、学級で生かしていくにはどうしたら良いかを考える。</p>
		<p>コミュニケーションにおいて、自分のことを話すだけでなく、相手の話をしっかり聞くことも大切であることを理解させる。</p> <p>○ 友達のことを知るために、ペアになり、休み時間にどんな遊びをしたのかや、楽しかったことなどについて話す。 ○ 聞いていた人は質問をする。 ○ 4人グループになり、自分が聞いた友達の話を、グループ内で紹介する活動を通して、相手の話をしっかり聞くことの大切さに気付く。</p>	<p>コミュニケーションを行う上で、言葉で伝えることに加え、相手の動きや表情をよく見たり、よく聞いたりして、相手が話したいことを知ろうすることも大切であることを理解させる。</p> <p>○ ペアでインタビューを行う。 ○ どのように話を聞いてもらうとうれしかったかを発表する。 ○ 他者紹介を行う。 ○ 他者紹介を通して感じたことを発表する活動を通して、相手が話したいことを知ろうとする大切さに気付く。</p>	<p>コミュニケーションを図ることで、互いに意思や感情、思考を伝え合うことや、新たな考えに気付いたり、考えを深めたりできることを理解させる。</p> <p>○ グループで「いじめをなくすために必要なこと」について話し合い、考えをまとめる。 ○ グループごとに主張とその理由を発表する。 ○ 活動を振り返り、各自が感じたことを発表するを通して、コミュニケーションの大切さについて理解する。</p>
3	望ましい人間関係の構築	<p>いじめは、相手の心や体を傷付ける行為であることを理解させるとともに、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 学級の良いところを発表する。 ○ いじめに関するイラストを見て、考えたことを発表する。 ○ 自分の周りでのいじめが起こったときどうするか考える。 ○ いじめのない楽しい学級を作るためのルールを考える。</p>	<p>いじめが起こったらどのように行動するか考えることを通して、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 楽しい学級と楽しくない学級の違いを考えて発表する。 ○ 自分の身の回りでいじめが起こったらどのように行動するか考える。 ○ いじめのない楽しい学級、一人一人の良いところが伸ばせる学級を作るための具体的な方法を考える。</p>	<p>自分と相手との考え方や感じ方の「違い」や、SNSをはじめとするインターネット上では「誤解」が生まれやすいことを理解させる。</p> <p>○ 教師が例示する言葉について、自分ならどう感じるかを考え、全体で話し合う。 ○ グループでSNSをはじめとするインターネットにおいて、自分の考えや気持ちを伝える方法を話し合い、全体に発表する。 ○ 「SNS東京ルール」及び「SNS学校ルール」を確認する。</p>
		<p>いじめは、相手の心や体を傷付ける行為であることを理解させるとともに、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 学級の良いところを発表する。 ○ いじめに関するイラストを見て、考えたことを発表する。 ○ 自分の周りでのいじめが起こったときどうするか考える。 ○ いじめのない楽しい学級を作るためのルールを考える。</p>	<p>いじめが起こったらどのように行動するか考えることを通して、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 楽しい学級と楽しくない学級の違いを考えて発表する。 ○ 自分の身の回りでいじめが起こったらどのように行動するか考える。 ○ いじめのない楽しい学級、一人一人の良いところが伸ばせる学級を作るための具体的な方法を考える。</p>	<p>自分と相手との考え方や感じ方の「違い」や、SNSをはじめとするインターネット上では「誤解」が生まれやすいことを理解させる。</p> <p>○ 教師が例示する言葉について、自分ならどう感じるかを考え、全体で話し合う。 ○ グループでSNSをはじめとするインターネットにおいて、自分の考えや気持ちを伝える方法を話し合い、全体に発表する。 ○ 「SNS東京ルール」及び「SNS学校ルール」を確認する。</p>
4	規範意識の醸成	<p>いじめは、相手の心や体を傷付ける行為であることを理解させるとともに、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 学級の良いところを発表する。 ○ いじめに関するイラストを見て、考えたことを発表する。 ○ 自分の周りでのいじめが起こったときどうするか考える。 ○ いじめのない楽しい学級を作るためのルールを考える。</p>	<p>いじめが起こったらどのように行動するか考えることを通して、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 楽しい学級と楽しくない学級の違いを考えて発表する。 ○ 自分の身の回りでいじめが起こったらどのように行動するか考える。 ○ いじめのない楽しい学級、一人一人の良いところが伸ばせる学級を作るための具体的な方法を考える。</p>	<p>自分と相手との考え方や感じ方の「違い」や、SNSをはじめとするインターネット上では「誤解」が生まれやすいことを理解させる。</p> <p>○ 教師が例示する言葉について、自分ならどう感じるかを考え、全体で話し合う。 ○ グループでSNSをはじめとするインターネットにおいて、自分の考えや気持ちを伝える方法を話し合い、全体に発表する。 ○ 「SNS東京ルール」及び「SNS学校ルール」を確認する。</p>
		<p>いじめは、相手の心や体を傷付ける行為であることを理解させるとともに、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 学級の良いところを発表する。 ○ いじめに関するイラストを見て、考えたことを発表する。 ○ 自分の周りでのいじめが起こったときどうするか考える。 ○ いじめのない楽しい学級を作るためのルールを考える。</p>	<p>いじめが起こったらどのように行動するか考えることを通して、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしない態度を育てる。</p> <p>○ 楽しい学級と楽しくない学級の違いを考えて発表する。 ○ 自分の身の回りでいじめが起こったらどのように行動するか考える。 ○ いじめのない楽しい学級、一人一人の良いところが伸ばせる学級を作るための具体的な方法を考える。</p>	<p>自分と相手との考え方や感じ方の「違い」や、SNSをはじめとするインターネット上では「誤解」が生まれやすいことを理解させる。</p> <p>○ 教師が例示する言葉について、自分ならどう感じるかを考え、全体で話し合う。 ○ グループでSNSをはじめとするインターネットにおいて、自分の考えや気持ちを伝える方法を話し合い、全体に発表する。 ○ 「SNS東京ルール」及び「SNS学校ルール」を確認する。</p>

【 指導のねらい ○学習活動 ◆「特別の教科 道徳」における内容項目】

中学校	高等学校	特別支援学校
<p>互いの立場を尊重し、いろいろなもの見方があることを理解し、寛容の心をもととする態度を育てる。</p> <p>◆相互理解、寛容 「言葉の向こうに」 (文部科学省『私たちの道徳』中学校)</p> <p>正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、正義を実現しようとする態度を育てる。</p> <p>◆公正、公平、社会正義 「傍観者でいいのか」 (東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成16年3月)</p>	<p>考え方や価値観の違いを認識し、互いを尊重することにより、より良い学級や学校、豊かな未来を築くことができることを認識する。</p> <p>「最終章『人間と社会～これからの生き方～』を考える」 (東京都教育委員会『人間と社会』)</p> <p>【本章で考えること】 これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にしていきますか。</p>	<p>自分の好き嫌いにとらわれず、誰とでも仲良く接することができる態度を育てる。</p> <p>◆公正、公平、社会正義 「みんなとなかよく-あなたがうさぎさんだったら-」 (文部科学省『わたしたちの道徳』小学校1・2年)</p>
・いじめ防止サミット	・いじめ防止啓発作品づくり	・カラーリボン運動
<p>ほかの人の良いところを伝え合う活動を通して、今まで気付かなかった自分の良いところを知り、自分と友達の良いところを学級で生かしていくこうとする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の長所と短所をノートに書き、長所や短所が現れた具体的な事例も書く。 ○ グループ内で二人組になり、相手の長所と短所からその人らしさをまとめ、互いに読み合う。 ○ ノートに自分と友達の良いところを学級で生かしていくための方法を考える。 	<p>友達のその人らしさを探すとともに、自分らしさを生かして地域や社会のために貢献していこうとする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「放課後子供教室」で、自分やグループのメンバーの好きなことや得意なことを生かしてどのような活動をしたいか考える。 ○ グループとして取り組んでみたいものを決め、その活動に必要な役割と担当者を考える。 ○ 自分や友達の「らしさ」について気付いたことを発表する。 	<p>自分の良いところに気付くとともに、友達や周りの人の良いところを積極的に見付けようとする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の良いところを考え、「いいね！カード」に書き、発表する。 ○ 友達の良いところを「いいね！カード」に書く。 ○ 友達に書いたカードを発表してから渡す。 ○ 本時を振り返り、自分も友達も多くの「良いところ」をもっていることを確認する。
<p>コミュニケーションにおいては、互いに意思や感情、思考を伝達し合うことや、相手の考えを尊重して話し合うことが大切であることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『心みつめて』を読み、人によって物事の捉え方が異なることを理解する。 ○ 学校行事を一つ選び、その行事を行う上で大切だと思うカードを、順位を付けて並べる。 ○ グループ内でカードの順位を話し合っ決めて決める。 ○ 集団による意思決定の際に大切なことについて、感じたことを発表する。 	<p>言葉や感情表現によって相手への意思の伝わり方が異なることを理解させるとともに、自分の意思を正しく伝え、受け止めてもらえるような表現を行っていくこうとする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分も相手も大切にする自己表現についての説明を聞く。 ○ 他者と意見が異なったときの自分の気持ちの表現の仕方について考える。 ○ 友人と意見が異なったときを想定し、自分のことを優先する表現、自分も相手も大切にする表現、友達を優先した表現について考える。 ○ 発表を行い、意見を述べ合う。 	<p>コミュニケーションとは、互いに意思や感情、思考を伝達し合うことであり、言葉や文字だけでなく、声の大きさや話し方や態度などが大きな役割を果たすことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションとは何かを考える。 ○ 自分のペアである相手を探す。 ○ ペアの相手に、自分の得意なことを伝える。 ○ 聞いた側は、相手の得意なことを画用紙に書き、握手して渡す。 ○ ペアを探す活動を行う。 ○ 活動を振り返る。
<p>SNSの上手な使い方について学び、自分たちの身を守るためのルールを考え、行動できるようにさせ、ネット上での規範意識を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットの利用状況を振り返り、日常生活で感じたこと(メリットやデメリット)を発表する。 ○ 「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」ホームページを視聴し、感じたことを発表する。 ○ SNSの利用に際してのトラブルなどを防止又は解決するために必要な「行動宣言」を考える。 ○ 本時の学習を振り返る。 	<p>SNSを介したトラブルやいじめについて知り、加害者にも被害者にもならないための防止策や、対処方法を身に付けさせ、ネット上での規範意識を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNSの利用状況・課題についてペアで話し合う。 ○ SNS利用上のトラブルやいじめの具体例を挙げ、防止策や対処法を考える。 ○ 学習を通して気付いたこと、他の人の考えなどから学んだことをワークシートにまとめる。 	<p>いじめをなくすために、自分ができることを考えることを通して、いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬ振りをしないための態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居心地の良い学級とはどのような学級であるかを発表する。 ○ DVD「STOP!いじめ あなたは大丈夫？」を視聴し、いじめについて考える。 ○ DVDの続きを視聴し、いじめられたとき、その場面に会ったときに、どのようにすればよいかを考える。 ○ 本時の学習を振り返る。